

訪問作業療法の今と未来

～制度や現場から見えてくる、地域で求められる作業療法を考える～

研修プログラム



竹中 佐江子 氏 (株)東京リハビリテーションサービス 取締役
「訪問作業療法に関する概要や制度」

少子超高齢社会が刻々と迫る今、超高齢だけでなく、小児、教育、就労、産業等の生産人口維持、向上が必要であり、地域共生社会の実現に向け、制度や枠組みを超えた仕組みづくりが加速しています。訪問に従事している作業療法士は在宅支援の現場から、地域のニーズを掴むことができるスペシャリストです。国から期待されていることを背景に、今そしてこれからの時代に、作業療法士としてどのような実践を積んでいくことが必要か、一緒に考えたいと思います。



上原 亮介 氏 山王リハビリ・クリニック

「訪問リハビリテーションの実際 ～多様な事例を通して～」

生活期では対象者の疾患・年齢・環境(物理的・人的)・価値や興味などによって目標やそのアプローチもさまざまです。一方、病院や施設においては『退院や退所』とそのための『ADL・IADLの向上』が目標の軸になることが多いかと思えます。そのあたりの違いをイメージできるよう、事例紹介を取り入れた講義にしたいと思います。

ディスカッション「今後地域で求められる作業療法を考える」

ご講義いただきました先生方と、今後地域で求められる作業療法についてディスカッション致します。

司会進行役 今井悠人(東京都作業療法士会地域包括ケア対策委員会)



日時

令和4年2月16日(水) 19:00-21:00 (受付18:45～)

対象

東京都作業療法士会員

参加費

無料

参加方法

ZOOMによるオンライン形式
Web上での研修会となります。十分な通信環境、通信機器をご準備ください。

申し込み締め切り

2月12日(土) 定員80名

申し込み方法

QRコードまたはURLを読み取り、指定のフォームよりお申し込みください。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=5238587945919649&EventCode=P761606590

お問い合わせ先

chiikihoukatsu.tokyo@gmail.com

